

上甌の夏を彩るみこしパレード

7月28日(日)、上甌町の中甌港で第41回かみこしき夏祭りが開催され、多くの住民でにぎわいました。子どもみこし・踊りパレード、スイカ早食い競争、太鼓演奏などが行われ、最後は、花火が打ち上げられ、夜空を彩りました。



里のお盆の伝統行事

8月13日(火)、里町で五穀豊穡を祈る伝統行事「かづらたて」が行われました。かづらをより合わせて大蛇に見立てて作った大綱を、顔などに派手なペイントを施した住民らが担ぎ、ほら貝やかねの音に合わせて踊り歩きました。



親子で考え、親子で作る

7月27日(土)と8月24日(土)に少年自然の家で小学生とその保護者を対象にした親子工作教室が開催され、40人の親子が参加しました。

参加者は、使い道を話し合いながら、木材の端材などを有効活用し、個性豊かな作品を作りました。



めざせ！未来のぼっけもん

8月17日(土)から18日(日)の2日間、少年自然の家でキッズキャンプが開催され、小学校3年生と4年生の33人が参加しました。テント設営、野外炊飯、キャンプファイヤー、自転車モトクロスなどを体験しながら、集団行動を通してやり抜く力や冒険心などを育みました。



甌島の中学生の甲子園

8月19日(月)から22日(木)の4日間、長崎県対馬市で第12回全国離島交流中学生野球大会(通称：離島甲子園)が開催され、甌島の4つの中学校から参加者を募り、選抜チームで参加しました。交流戦では、敗れはしたものの、エースを中心に奮闘し、強豪相手に貴重な2点を取るなどの活躍で、試合終了後、選手たちは、野球ができる喜びに満面の笑みを見せていました。



甌島で海岸清掃とアート工作

8月4日(日)、島外の小学生と保護者が上甌島の長目の浜・鹿の子大橋海岸、鹿島町の小牟田海岸で海岸に漂着したごみを拾い、作業後には漂着した木や貝殻などを使って、工作をしました。

参加者は、甌島の海岸を清掃することで、美しい海岸を守る活動の大切さを学ぶとともに、親子で甌島の夏の思い出をつくりました。



男子バレー国際親善試合「日本対中国」

8月24日(土)と25日(日)の2日間、サンアリーナせんだいで日本代表チームと中国代表チームによる国際親善試合が開催されました。市内外より約3,600人の観客が来場。各試合終了後にはサインボールのプレゼントや選手とハイタッチができるイベントも行われました。



夏休みのコワーイおもひでお化け屋敷

8月31日(土)と9月1日(日)の2日間、神田町で空きビルを利用し、観光物産協会中心市街地事業部と向田地域の協力隊の企画で「お墓参り」をテーマにしたお化け屋敷が登場しました。

2日目には、最大100分待ちの行列になるほどの盛況ぶり、建物内には、参加者の悲鳴が響き渡っていました。



ものづくり競技大会で金賞

8月27日(火)、ポリテクカレッジ川内電気エネルギー制御科2年生の山崎弘貴さんと松迫信哉さんが、市長を表敬訪問し、7月31日から8月1日の2日間に開催された「第14回若年者ものづくり競技大会」のメカトロニクス職種で、1位(金賞/厚生労働大臣賞)を受賞したことを報告しました。

この大会は、若年者に目標を付与し、技能を向上させることにより就業促進を図り、若年技能者の視野の拡大を図ることを目的として開催されました。

金賞を受賞した2人は、11月に愛知県で社会人チームも混ざって開催される、さらにレベルの高い「第57回技能五輪全国大会」の参加資格を得て出場に向けて、日々練習に取り組んでいます。

(写真 左：山崎さん 中央：松迫さん)

